

暑中お見舞い申し上げます。

6月末に開かれた、カナダ・カナナスキス・サミットでは、アフリカ支援の行動計画が採択されました。

「アフリカ各国は、植民地から独立した直後から冷戦構造に組み込まれ、東西両陣営から様々な支援を受けてきたが、冷戦終焉でこの後ろ盾を失い、各地で紛争が相次ぐようになり貧困に拍車をかけることとなった。全アフリカ人口の半分近い3億人が一日1ドル以下で生活する極貧状態にあり、2400万人がエイズ感染者で、国によっては平均余命が10歳も短縮している。」

昨年の米同時テロ以降、このままでは世界の不安定要因になるとの認識が、サミットによるアフリカ支援の行動計画採択となりました。

図書館の写真が届きました。(北ソマリア ハルゲイサ)

紛争地の写真をとり続けてきたフリージャーナリスト T 女史が、5月上旬より北ソマリア(ソマリランド)を訪問することとなりましたので、ハルゲイサの図書館に英語の絵本の一部を届けていただきました。北ソマリアは、比較的安定していますが、T 女史出発直前に大統領がなくなり、治安が心配されましたが、T 女史は、6月中旬無事に戻ってこられました。

現地の人々は船便で送った絵本が到着するのを心待ちにしているとのことでした。



ハリマ女史からの便り

インターネットを開けば、部族衝突の記事が絶えないソマリアです。

先日の新聞には、アルコール中毒者、麻薬常習者が増え、彼らによる犯罪が増えている事が、また、モガデシュの北東700キロの地域で部族衝突があり、23人が死亡、40人が負傷した事が、載っていました。しかし、ハリマ女史の手紙には、

- ①メルカは平穏であること、
- ②今は雨期で、農業関係者は忙しくしていること、
- ③婦人達のために農業プロジェクトを始めたこと、
- ④学校建設プロジェクトの計画案を近々送ること、

等が、書いてありました。

編集後記

世界中の人々を興奮の坩堝に陥れたワールドアップ観戦はいかがでしたか。我が家の子供達からは、「いつからにわかサッカーファンになったのか」と揶揄されながら、年甲斐もなく興奮してしまいました。5月初旬久しぶりに映画観戦に行ってきました。93年10月米軍デルタフォースにより展開されたソマリア秩序回復作戦「ブラック ホーク ダウン」です。戦争の悲惨さを改めて知る機会となりました。暑さも日に日に募ってまいりましたが、健康にお気をつけください。